

番外編 先生の最愛シーン♡

“愛されヒロインの達人”が愛してやまないシーンを聞いてきました!!

由莉が一番魅力的に描けたシーン

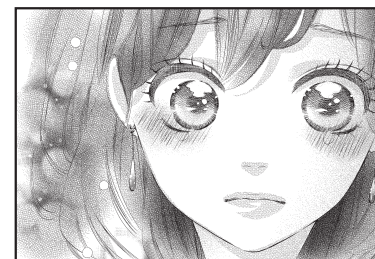


「由莉というキャラクターの色がはっきり出たシーンです」

▲嫌味な女子が落としたプレスレットを、川に飛び込んで探す由莉。「最初は「大変だ! 大事な物なのに」って由莉が考えるシーンを入れてたんですが、担当さんになんかいいと言われて…。たしかにいい方が、本気で行動する由莉のキャラが出てぐっと良くなって。作家として自分でも思いつかなかったのが嬉しいです(笑)」

上手に描けたお気に入りシーン

「仕上げを含め、満足のいく絵になりました!」



▲清野さんに「惚れ直した」と言われた後、思わず涙がにじんだ由莉。これは清野さんでなくても、抱きしめたい可愛さです!

第7回(5号)は

ラブシーンの達人

蜜樹みこ先生
お楽しみに!!!

「由莉が「ほわわ」と笑うところは、スライムを意識しています(笑)」



由莉のスライム顔にほっこり。清野さんが由莉に惹かれる理由が、デフォルメを通して伝わります。



ネギを首に巻き風邪を治そうとする場面。由莉のどこかズレている部分が、デフォルメで愛おしく!

その2 デフォルメで可愛いを加速させて

「デフォルメをいかに可愛く描けるかは、大事なことだと思います」と先生が言うように、デフォルメは画面や物語に緩急がつくだけでなく、キャラへの親近感も増してくれる。愛され加速装置です。しかし、達人ですら「多用すると物語のリズムが狂うし、意図したことが伝わらなくなるので、さじ加減が難しい」という諸刃の剣。バランスには気を付けて!

その3 愛されヒロインの条件とは



一途であること

成長すること

「絶対に裏切らない、相手への一途さをいちばん大事に」

ヒロインは「自分が男性だったら彼女にしたい女の子」をテーマに作り上げていくという星森先生。「とはいえ読者の女性に『こんな素敵な彼女にこんな彼女でいいの?』と思われたいよう、ヒーローにふさわしいヒロインを心がけています。その条件として、第一に上げてくれたのが「一途さ」です。『どんなことがあっても彼を裏切らない、言い寄られても揺るがない。私にとって一途なヒロインは絶対です』と先生。ヒーローにとっても読者にとっても信じられる彼女が、星森ヒロインなのです。



見た目からうじうじしてそうと思われがちな由莉ですが、実際は思ったことを行動に移せるキャラクター。頭で考えるより先に本能で動くところが、計算のないピュアな魅力につながっています。先生曰く「まずヒロインから行動するというのはSho-Comiヒロインの特徴でもあり、Sho-Comiの良さですね!」。

Sho-Comi
まんが
アカデミア

達人に聞け

まんがが上手になりたい! でも、作画にストーリーに演出…いきなり全てをアップデートするのは難しい。だったら、まずはひとつ自分の“武器”を手に入れよう! そのためのテクニックを、その道の達人であるまんが家先生に直撃インタビュー。月イチだけのスペシャル連載です!!

第6回 愛されヒロインの達人

星森柚稀も先生

【おとなの初恋】

不器用な性格のせいで就活に失敗し、フリーター生活を送る由莉。頑張っているけれど、26歳になりモヤモヤは増える一方。そんな由莉の前にエリートイケメンの清野さんが現れて…。



その1 緻密なデザインで作る“おとな”ヒロイン

「大人でも、少女まんがのヒロインである以上可愛くなければと思うんですが、その両立が難しくって」と先生。特に絵柄は、ぱっと見て大人とわかるよう、試行錯誤を重ねたんだとか。その結果、大きく変えた部分は「鼻」。「これまで、ごく小さく描いてきた鼻を変えることで、かなり大人っぽくなりました」とのこと。可愛さを殺さない程度のリアルさ、その絶妙なバランス感覚が“大人可愛い”を生み出すヒケツなのです。*

髪型と服装はキャラクターに合ったものを



髪型

真面目な由莉は黒髪ロング。先生が「光でツヤが入っている感覚を意識しています」と言うように、光の当たっている部分(右)はホワイトをざっくりと使い、対して影になる部分は全面ベタに。ルーズさも出てオシャレ!

服装も、モードじゃない一般的なOLさんのイメージで。「無難なブランドでマネキンの服一式買うみたいな子ですが、デートではワンピースなどで頑張っている可愛いさも。」



服装

鼻

「JKヒロインでは小さく描いていた鼻…今回は「鼻の穴」を描くことで、ぐっと大人っぽくなりました。可愛さを殺さない程度のリアルさ、その絶妙なバランス感覚が“大人可愛い”を生み出すヒケツなのです。*

目

「少女まんがなので大きな目は譲れませんが、気持ち小さめに。1歳でも上に見えるよう意識しています」

ピアス

ピアス

会社では

会社では

くち

くち

「大人の象徴としてピアスを。私の中ではピアスって女子大生くらいからつけるイメージなんです。真面目な由莉がピアスを…というギャップの要素もありますね」

真面目な由莉がピアスを…というギャップの要素もありますね」

「鼻や目で年齢を上げたぶん、口元はあどけなく」



「リアルでも年を取ると、輪郭がスッキリしてきますよね。これまでは大好きな「ラブライブ!」の影響で、「ふかふか」のぶくっとした輪郭を目指していたんですが、大人の由莉は少しシャープにしています」